



～患者実態からみた診療～

日時 2017年7月15日(土)
18:20～19:20

会場 第4会場
大阪国際会議場 10F 会議室1001・1002

座長



高村 悦子 先生
(東京女子医科大学)



島崎 潤 先生
(東京歯科大学市川総合病院)

ドライアイは、従来、高齢者において高い有病率が示され、加齢が主な要因として考えられてきました。

一方、パソコンやスマホの使用、コンタクトレンズの装用などの生活環境の変化により、若年者においても発症する疾患になり、その年代層は広がりがつあります。しかし、若年者や高齢者では主なドライアイの要因は異なっているため、その治療や診療方法には患者さんの年齢や生活環境を考慮した工夫が必要になると思われます。

さらに、ドライアイ患者さんの治療継続率は低く、ドライアイの根本的な解決には至っていない患者さんが多く存在するのではないのでしょうか。継続通院を促すコツとして、患者さんにドライアイとうまく付き合ってもらえるよう問診やムンテラといったコミュニケーションを大切に、それぞれの患者さんにあった言葉を使うことが重要となります。

本セミナーでは、コンタクトレンズ装用者や高齢者といった年代の異なるドライアイ患者さん個々にあわせた治療についてのお話を川島先生、東原先生に、患者満足度を高める診療についてのお話を内野先生にお願いしています。それぞれの患者さんに対するドライアイ診療とコミュニケーションについてご理解いただき、日頃のドライアイ診療のご参考にいただければ幸いです。

演者 1

高齢者ドライアイ患者に対する治療

川島 素子 先生 (慶應義塾大学)



演者 2

若年者ドライアイ患者に対する治療

～CL装用ドライアイを中心に～

東原 尚代 先生
(ひがしはら内科眼科クリニック)



演者 3

患者満足度を考慮した
ドライアイ診療

内野 美樹 先生 (慶應義塾大学)



お席ならびにお食事は相当数をご用意しておりますが、先着順とさせていただきます。ご了承ください。

一步先のドライアイ診療を 目指して!

～患者実態からみた診療～

日時 2017年7月15日(土)
18:20～19:20

会場 **第4会場**
大阪国際会議場 10F
会議室1001・1002

座長



高村 悦子 先生 (東京女子医科大学)

1979年 東京女子医科大学 卒業	1998年 東京女子医科大学 眼科 助教授 (現 准教授)
1981年 東京女子医科大学 眼科 助手	2010年 東京女子医科大学 眼科 臨床教授
1988年 東京女子医科大学 眼科 講師	現在に至る

座長



島崎 潤 先生 (東京歯科大学市川総合病院)

1982年 慶應義塾大学 医学部 卒業、眼科学教室 入局	1992年 慶應義塾大学伊勢慶應病院 眼科 部長
1985年 済生会神奈川県病院 眼科 医長	東京歯科大学 眼科 講師
1987年 ボストン大学 眼科、 Eye Research Institute of Retina Foundation 留学	1999年 東京歯科大学 眼科 助教授
1989年 慶應義塾大学病院 眼科 助手	2006年 東京歯科大学 眼科 教授 現在に至る

演者
1



高齢者ドライアイ患者に対する治療

川島 素子 先生 (慶應義塾大学)

1998年 慶應義塾大学 医学部 卒業 慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 入局	2004年 東京歯科大学市川総合病院 眼科 助手
1999年 東京都済生会向島病院 眼科	2007年 慶應義塾大学病院 眼科 助教
2000年 東京都済生会中央病院 眼科	2010年 慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 講師 (非常勤)
2002年 慶應義塾大学病院 眼科 助手	2012年 慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 特任講師 現在に至る

演者
2



若年者ドライアイ患者に対する治療

～CL装用ドライアイを中心に～

東原 尚代 先生 (ひがしはら内科眼科クリニック)

1999年 関西医科大学 卒業 京都府立医科大学 眼科学教室	2009年 京都府立医科大学 視覚機能再生外科学 後期専攻医員
2000年 バプテスト眼科クリニック	2011年 ひがしはら内科眼科クリニック 副院長、医学博士
2003年 京都府立医科大学視覚機能再生外科学大学院	2016年 京都府立医科大学 視覚機能再生外科学 客員講師 (円錐角膜・コンタクトレンズ外来担当)
2007年 愛生会山科病院 眼科 医長	現在に至る

演者
3



患者満足度を考慮したドライアイ診療

内野 美樹 先生 (慶應義塾大学)

2001年 山梨医科大学 卒業 慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 入局	2015年 ハーバード公衆衛生大学院 修士取得
2003年 慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 助手	2016年 慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 特任講師 現在に至る
2006年 両国眼科クリニック 院長	
2012年 ハーバード大学医学部スケペンス眼研究所 ハーバード大学公衆衛生大学院	